

## 編集後記

私たちは遠く離れた函館の地に思いを馳せながらこの編集にあたりました。教育実習や就職活動、卒業論文などに追われ、忙しい日々の中で行われた函館での実習は、準備も万全ではなかったであろうが、各自が最大限できることを行っただけの取り組みだったのではないのでしょうか。

そのなかで、これほどまでに真剣に研究に取り組み、研究レポートを完成させた先輩方の精神力と学問を追求する姿勢は、見習うべきものだと感じました。このような形で先輩方のレポート編集に携わることができたことを嬉しく思うとともに、自分たちもそれに続いていかなければ、と身の引き締まる思いです。

最後に、これら研究において地域の皆様や、行政の方々のご協力を頂き、完成に至ることができました。研究室一同、厚く御礼申し上げます。

2013年3月

教育学部社会科学教育専攻  
自然地理学研究室 2年一同

2011年度 地理学野外実習報告書

2013年3月 発行

国立大学法人 信州大学  
教育学部 自然地理学研究室

〒380-8544 長野市西長野 6-ロ

本誌掲載記事の無断転載を禁じます